



R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2013～2014 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「楽しい時(例会)が素晴らしい人生(ロータリー)を創る」

◆会長 山本 辰男 ◆幹事 中田 専太郎 ◆会報委員長 前越 路子 ◆会報担当 前越 路子

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 997回	51名	50名	41名	—	82.00%
前々回 995回	51名	50名	39名	2名	82.00%

<点 鐘> 会長 山本 辰男
<ロータリーソング> それでこそロータリー

<本日のゲスト>
高山赤十字病院 竹中 勝信 様

<会長の時間> 会長 山本 辰男

暑さや寒さも彼岸までと言われていますが春の遅い飛騨にもようやく春が訪れてまいりました。先ほど 997 回目の点鐘を叩かせていただきました。後 3 回で 1,000 回を迎えることに成ります。良くも悪くも高山中央ロータリークラブは会員皆様方の持ち味と、今日までの例会の積み重ねとでこのクラブの今が有る訳です。私はとても素敵で素晴らしいクラブだと思います。皆さんはどうでしょうか。先輩に感謝です。一寸例会を紐解いてみたいと思います。第一回の例会は H3 年 6 月 10 日ひだホテル 2F レストランにて開催されました。三輪会長が、6 月 6 日 R I より承認されこれで仮クラブではなく正式に高山中央 RC となりましたと話されています。このときの幹事は溝際さんですが、副幹事の針山さんが幹事報告をされています。お休みのようです。第 5 回の例会が 7 月 7 日、新年度に入って初めての会長バッチのセレモニーが有りました。第 10 回は 8 月 12 日、ゲストに青少年育成市民会議の塩屋節次さんに来ていただいて卓話を頂いています。飛びまして第 50 回例会 H4 年 7 月 6 日田口会長の初めての例会です。三輪会長・溝際幹事に 13 ヶ月任期のお礼をおっしゃっています。幹事は針山さんです。次は第 100 回です。H5 年 7 月 19 日会長に堀之内さん、新年度 3 回目の例会でやっとの出席です。7 月 1 日から心筋梗塞で入院をされていて無事退院できましたとの挨拶です。幹事は陣出さんです。次は第 150 回です。H6 年 8 月 8 日会長は前川さん、幹事は剣田さん。会長の時間の挨拶の内容は、来年の IM の担



当が当クラブになりますので、開催するには分区代理を出す必要があります。三輪さんをお願いしました。ちなみに 151 回は山陣で浴衣例会でした。第 200 回は H7 年 9 月 4 日、会長は飯山さん、幹事は阪本さん、親睦委員長は山本さん。この例会は 50 人が出席しワインで乾杯、この時の講師が高山警察署生活安全課長の鹿島さんでした。この年度 5 月 20 日に 5 周年をしています。司会は松之木さん、謡は岸本さん・島さん・清水さんで座付きは三輪さんでした。あと二回に分けてクラブの歴史の裏話をしたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。本日の例会担当は国際奉仕委員会です周委員長よろしくお願ひします

<幹事報告> 幹事 中田 専太郎

- 米山梅吉記念館より
- ・春季例祭のご案内
日時：4 月 26 日 (土)
会場：米山梅吉記念館ホール
14:00～14:30 式典
14:30～16:00 講演
(講師：水野正人氏
演題：東京五輪が国際交流に果たす役割)

- ・米山梅吉記念館 館報
- ・賛助会ご入会のお願ひ

<本日のプログラム>
国際奉仕委員会 周 委員長

本日は、高山赤十字病院脳神経外科 竹中勝信先生において頂き、「アジアへの貢献」と題して、医療から見た開発途上国の現状について卓話をいただきます。



<卓話>

スリランカにおける医療援助について

竹中 勝信 様 (高山赤十字病院)

私は、高山に赴任してから、地域社会への貢献という意味で生活習慣病のうち脳卒中の担当となりました。脳卒中になる要因として環境がどうかかわっているかを研究するため高山赤十字病院の屋上の空気、飛驒の水、米、母乳を毎年採取して保管し分析してきました。そして分かったことは、高山の空気、水、米、母乳ともにとっても高い水準できれいであるということでした。全国の状態を調べるときに高山が基準になるほどきれいです。そのため、海外特にアジアの国々の環境についても情報が来るようになりました。

その中で、スリランカで若年層に原因不明の腎不全が多発する地域があるという話を耳にしました。そこで、日本学術振興会の助成を受け京都大学の小泉教授らとともに、現地調査に行ってきました。

スリランカでは、40年ほど前から急増する人口問題の解決のため、国土の中東部の乾燥地帯に移住政策を実施していました。灌漑用水の建設、井戸の設置などを行い何十万人という人が移住しました。その地域で、腎不全が多発するようになっていたのです。

現地についてから、聞き取り調査、小水、血液の採取等の調査をしてきました。パラデニア大学病院の透析センターも見学してきました。驚いたことに、一つのベッドに二人ずつ寝ていて、通路にも患者があふれていました。医師、看護師は足りなく、手術なども二週間待ちという状態です。透析センターの機械は古いもので聞きましたところ、いろいろな国から中古の機械をもらって使っているとのことでした。パラデニア大学では今回の調査の反省会、今後の研究、医療支援などについての討論会を開きました。そこで明らかになったことは、数万人レベルで患者が急増しているが、医療現場がそれに追いつかず毎年多数の若い患者が透析を受けられずに亡くなっているという現状でした。そこで、医師の養成には時間がかかるため急増する患者に対応できない、現実的な対応として、看護師の短期研修を受け入れてくれないかという希望が出され、高山赤十字病院で4名の看護師研修生を受け入れることとなりました。研修生が高山に来た時は、冬でしたので雪に感激しリンゴの実がついている木に感激していました。熱帯のスリランカではどちらも見るできないものだったからです。透析センターでの研修は、患者の予定ボードを見て、情報共有がシステム的にできることを学び、救急救命センター

では、コンピューターの多さに驚いていました。救急車を呼ぶ場面に遭遇した時は、連絡すると無料ですぐに来てくれるというシステムに驚いていました。また、日本人のきれいな好きにも感動し掃除道具のころころをお土産に持って行ってもらったほどです。

二週間の研修が終わり、研修終了の証明書を授与いたしました。この証明書で、スリランカでは透析の技術を他の医療従事者教える資格がもらえるようです。研修のまとめとしては、透析医療の水準の高さ、きれいな水(スリランカの百倍きれいだと言っていた)を使用している、チーム医療として患者にかかわっていること、患者教育水準が高いため患者自身の病気に対する知識が豊富であるなど、学ぶべきところ見習うべきところがたくさんあったということでした。ただし、日本側の問題として、英語を話せる人が少ないと指摘されました。日本はアジアのリーダーなのに、なぜ英語が話せないのかと苦言を呈されたのでこれについては日本側の今後の課題となることと思います。

最後に、脳卒中の専門家として、リンゴを食べると脳卒中リスクが52%低下するという研究が発表されていて、すでに世界的に常識となっています。高山は美味しいリンゴの産地です。リンゴをたくさん食べて健康な生活を送ってください。



<ニコニコBOX>

本日は、竹中先生のご来訪を歓迎致します。よろしくお願ひ致します。また、卒業・入学のシーズンです。ご卒業され新たなる旅立ちをされる御子息も多い事でしょうが、大いなる飛躍をお祈りいたします。
理事役員一同

本日は、竹中先生お忙しい中、当クラブにお越し頂きありがとうございます。卓話をよろしくお願ひします。ゴルフほど緊張されないとと思いますが・・・。
周 信夫

昨日は家内の誕生日に綺麗な花を頂きありがとうございました。
永家 将嗣

昨日、高山に帰ってくる為の娘の引越しが無事終わりました。バイトをしながら、臨床検査技師の仕事を探します。
津田 久嗣

先日のはぐるま会で賞金を頂きましたのでニコニコへ。
岩本 正樹

島さん、今井さん、事務局さんのご協力を頂き「恋するフォーチュンクッキーひだしん ver」が完成しYouTubeにアップしました。会員の皆様一度ご覧頂きたくお願ひします。
大原 誠